

小学生高学年の部



おいしい水はじゃ口から

石巻市立湊小学校 5年 江良 さくら

「井底(せいてい)の蛙(かわず)」じゅくで習ったことわざです。意味は理解できたけど、いつ使うのだろうと思っていました。

でも、水について調べていると、自分が「井底の蛙」という事に気づきました。

日本は、上下水道が整備され、安心して水を使えます。でも世界を見ると安全な水を飲めない人たちの方が多いそうです。バングラデシュにある村では、井戸の水を手押しポンプでくみあげ、飲み水にしたり家庭で使用しているそうです。でも、井戸から出る水は、ヒ素におせんされています。ヒ素とは、もう毒です。皮ふに悪い影きょうをあたえて、何年もかけて体をむしばみ、最悪の場合は、死んでしまいます。それなのに、有害だとわかりながら人々は水を飲みます。理由は、村に水がないからです。川や池はあるけれど、病原菌におかされています。井戸の水も安全でない事を知りながら、今日を生きるために有害な水を飲んでいるそうです。

バングラデシュにかぎらず、世界には安全な水を飲めずにこまっている人たちがいるのに、水を出しっぱなしにする事がある自分が恥ずかしくなりました。私は、水を飲みながら、毒が入っているかもしれないなど考えたこともありません。水は、おいしくて安全な事が、あたりまえだと思っていました。日本は、他国に比べると、とても恵まれている事に、おどろきました。

調べていると、もう一つ気になる事がありました。せっかくおいしい水が、じゃ口から出るのに、日本人は、ミネラルウォーターを買う人が多い事です。なん水より、ミネラル分をふくんだ、こう水が良いとか。オシャレなボトルだから持ち歩くのに良いという理由です。人間は、水が必ず必要です。食べ物がなくても数週間は、生きる事ができます。でも、数日水を飲まないだけで、脱水症状を起こして死んでしまうそうです。オシャレで高価なミネラルウォーターを買うことは、体が必要としている水分とは、何かちがうような気がします。

おいしい水は、身近にあります。みなさんも、ゆ入された水に負けないおいしい水を、じゃ口から飲んでみて下さい。

学校の授業で、水について学びました。私たちは、一日に一人二百四十リットルもの水を使っているそうです。飲み水として使用する人が少なくても、お風呂・歯みがき・洗たく・トイレ。水は、いろいろな所で使用されています。今はまだ、じょう水場でよごれを取りのぞく事ができているけど、必要以上に家からよごれた水を流したり、川や海をよごし続けると、人間だけではなく、動物も花も、地球上の生物はみんな生きていけなくなる時が来ると思います。

今の事だけを考えず、未来も今と変わらずおいしい水が飲めるように、一人一人が水を大切に生活していかなければいけないと思います。